

# 既参加青年の主な活動 (「世界青年の船」事業 各国事後活動組織の活動)

## オーストラリア



- 世界各国の既参加青年から本を集め、フィジーの村へ寄附
- フィジーの村では、既参加青年の協力で図書館を建設し、1,000人以上の村人に図書を利用してもらえるようになった(2011年)

## バーレーン王国



- 在バーレーンの日本人会のメンバーと協力して、知的障害者支援施設を訪問し、折り紙などを教える活動を実施
- 手話の勉強会に参加し、障害を持つ人たちとの交流を目指す(継続実施)



## ブラジル連邦共和国



- 「世界青年の船」事業での学びをいかして、地元で平和教育プログラムを実施
- 15~17歳の青少年45人が参加した(2006年)

## チリ共和国



- Dance for Fun というイベントを実施、貧しい子どもたちに無料で踊りを教え、人生を楽しむ機会を提供



- 「世界青年の船」事業で学んだ各国の踊りを披露した(2010年)

## ギリシャ共和国



- 「世界青年の船」で日本参加青年が実施した「ピース・カフェ(平和セミナー)」の体験をもとにギリシャの大学で同セミナー開催



- 「核兵器と原子力」をテーマにディスカッションを実施、学生に大きな影響を与えた(2010年)

## フィジー共和国



- ニュージーランドの既参加青年と協力して、学校のIT環境充実のための活動を実施(2008年)



- 寄附を募り、経済的に恵まれない子どもたちが学校へ行けるように支援する活動を開始(2009年)

## インド



- ガンジーの非暴力と平和の遺志を引き継いで、「平和教育」を上智大学、東京外国語大学などで実施
- 経済的に恵まれないスラムの子どもたちに教育の機会を提供する「オープン・スクール」を実施、1000人以上の子どもたちが参加

## ケニア共和国



- 2007年に起きた暴動により避難民となった人々のキャンプで、日本人既参加青年の協力のもと、支援活動を実施
- ケニア既参加青年がボランティアで運営するスラムの学校に、日本人既参加青年が協力して、学用品の支給など継続的に支援(ツペンダンネ)

## モーリシャス共和国



- 既参加青年が代表の一員を務める団体で、若者がリーダーシップを発揮し、差別の無い国を目指す活動を実施(2006年より複数回)

## メキシコ合衆国



- 富裕層から不要となった物を回収、経済的に苦しむ人々のもとへ運び、無料で配布、10,000人を超える人々が恩恵を受けた
- 「世界青年の船」参加青年の選考の過程で、応募者100名以上が貧困地区でボランティア活動に従事した

## メキシコ合衆国



- 「世界青年の船」事業でカナダの代表青年が実施している活動に影響を受け、メキシコでスポーツを通じた青少年育成活動を実施、23,000人を超える子どもたちを指導
- 国連のミレニアム開発目標の活動としても認められた

## メキシコ合衆国



- 3週間の青少年育成プログラム、「Back on Board」を実施
- ボランティア精神、異文化理解、社会貢献活動に対する啓蒙プログラムに合計315人が参加、様々な活動に取り組んだ(2009年)

## ペルー共和国



- 「世界青年の船」事業の精神を引き継いで、「世界青年のバス(Bus for World Youth)」を実施
- 6か国から25名の既参加青年が自費参加、2週間にわたり、ペルー各地の貧困地区などでボランティア活動を実施(2010年)



## ペルー共和国



- 「世界青年の船」事業に参加するための事前研修として貧困地区の学校等を訪問し、ボランティア活動を実施、500人の子どもたちに食糧を提供



- 事業終了後はこのような社会貢献活動にかかわることを義務付けている

## トンガ王国



- 日本人コミュニティとの関係を深め、JICA主催の「ジャパン・フェスティバル」でブースを担当、トンガの高校生に日本の生活や文化について説明

## トルコ共和国



- トルコの大震災で被災したヴァン地区の子供たちの精神的なケアのためにワークショップを開催



- 学校を訪問し、折り紙や、「世界青年の船」で学んだ歌と踊りを教えた(2012年)

## 英国



- 2名の既参加青年が英国よりモンゴルへ救急車を運転して運びモンゴルの医療機関へ寄附(2011年)



## ベネズエラ・ボリバル共和国



- 「世界青年の船」事業に参加するための事前研修として養護施設等を訪問し、ボランティア活動を実施
- 事業終了後はこのような社会貢献活動にかかわることを義務付けている

## ベネズエラ・ボリバル共和国



- ヨーロッパとラテンアメリカの6カ国のNGOの共同プロジェクトとして、「Learn, Live Love Project」を開始
- 小学校などで活動を実施、貧困や差別をなくしていくことを目的としている

(2012年～)

## イエメン共和国



- イエメン各地で同じ日に献血、既参加青年のみならず、家族や友人を連れて「Save More Lives」をスローガンに、献血キャンペーンを実施（継続実施）

## イエメン共和国



- 環境問題に対する市民への啓蒙活動として、SWY-350というセミナーを開催（2010年）